

ミニ展示「エオリアン・ハーブ」

今年度から、職員によるミニ展示コーナーが新設されました。展示担当者のお気に入りの楽器などを通して、お客様に紹介したいことを展示しています。ミニ展示の内容は、2ヶ月毎に変えていく予定です。

5・6月は、ヨーロッパの楽器「エオリアン・ハーブ」を取り上げました。現代ではこの楽器の音を聴く機会はありませんが、復元楽器の録音音源やギターを利用した実験映像の放映、また、エオリアン・ハーブが流行していた19世紀頃の設置方法の模型をご覧になることで、風の奏でる音が楽しまれていた様子を想像していただけたかと思います。

7・8月は、トリニダード・トバゴの楽器「スティール・パン」の展示を行っています。是非ご覧ください。

ミニ展示
「エオリアン・ハーブ」
会期：令和元年
5月1日(水)
～6月30日(日)



「スティール・パン」
会期：令和元年
7月1日(月)
～8月31日(土)

博物館日誌

- 4/1(月) ミニ企画展「大正琴歴史館～大正・昭和・平成から新しい時代へ～」(5/6(月)まで開催) 入場者：14,296人
- 4/13(土) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」 10:30/11:30 参加者：5人
- 4/14(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤) / 14:00(鍵盤) 参加者：31名
- 4/21(日) 展示室ガイドツアー 11:00(ヨーロッパ) / 14:00(アフリカ) 参加者：62名
- 4/28(日) ミニテーマ展「マンガで学ぶ日本伝統音楽」(5/12(月)まで開催) 入場者：9,423人 展示室ガイドツアー 11:00(アジア) / 14:00(鍵盤) 参加者：54名
- 5/3(金) ミュージアムサロン「中国の阮(ルワン)」 14:00/15:30 天空ホール 出演：タンズベクティエン 参加者：135人
- 5/4(土) ミュージアムサロン「アコーディオン&バンジュー」 14:00/15:30 天空ホール 出演：Banjo&Accordian 稲川友則、柴田貴子 参加者：201人 国際博物館の日記念事業 レクチャーコンサート「上方風流寄席囃子～落語と鳴り物の幸せな時間～」 14:00 研修交流センター音楽工房ホール 出演：林家染雀、霧の真、林家染八、月亭遊真、はやしや絹代、はやしや京子 入場者：115人
- 5/5(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤) 参加者：38人 ミュージアムサロン「ウズベクのドゥターール」 14:00/15:30 天空ホール 出演：駒崎万集 参加者：180人
- 5/12(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤) / 14:00(アジア) 参加者：24名
- 5/16(木) レクチャーコンサート「砂漠の街の楽師たち～インド・ラージャスターンの音楽と楽器～マーンガニヤールの芸術～」は、都合により中止となりました。 国際博物館の日記念事業 総合案内図録配布
- 5/18(土) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」 10:30/11:30 参加者：12人
- 5/19(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アフリカ) / 14:00(アジア) 参加者：31人
- 5/20(月)～5/22(水) 移動楽器博物館 浜松市立大居小学校
- 5/26(日) 展示室ガイドツアー 11:00(ヨーロッパ) / 14:00(鍵盤) 参加者：44名
- 6/2(日) 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤) / 14:00(鍵盤) 参加者：63名
- 6/5(水) 日本オーストリア友好150周年記念 「バリトン～王侯貴族の愛した幻の弦楽器～」 19:00 天空ホール 出演：エステルハーゼ・アンサンブル 入場者：77人
- 6/9(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アフリカ) / 14:00(ヨーロッパ) 参加者：39名
- 6/11(火)～6/14(木) 移動楽器博物館 浜松市立葵が丘小学校
- 6/16(日) ハマジャム展(楽器づくりワークショップ) 11:00/15:00 JR浜松駅北口広場 参加者：35人 展示室ガイドツアー 11:00(鍵盤) / 14:00(鍵盤) 参加者：38名
- 6/20(木)～6/21(金) 職場体験 静岡県立江之島高等学校
- 6/23(日) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」 10:30/11:30 参加者：11人 展示室ガイドツアー 11:00(アジア) / 14:00(アフリカ) 参加者：40人
- 6/24(月)～6/26(水) 移動楽器博物館 浜松市立大瀬小学校

くまモンが来てくれました！

6月21日(金)に熊本県の営業部長兼しあわせ部長くまモンが、楽器博物館にご来館くださいました。突然の来訪にお客様も大喜び。くまモンは、ポーズを決めたり、一緒に写真を撮ったりと、一人一人のお客様に丁寧に対応してくださいました。展示室では、楽器の音や映像を視聴したり、体験できる楽器を楽しんだり、楽器博を満喫していました。お客様も博物館スタッフも、くまモンから元気を頂き、しあわせなひとときを過ごすことができました。



©2010 熊本県くまモン 協力：銀座熊本館

- 6/30(日) 展示室ガイドツアー 11:00(アジア) / 14:00(アジア) 参加者：86人
- 7/2(火)～7/5(金) 移動楽器博物館 浜松市立富塚西小学校
- ♪ギャラリートーク (職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで10分ほど解説) 4月 計104回 参加者：1,680人 5月 計103回 参加者：1,534人 6月 計102回 参加者：1,309人

これからの催し物

- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説 ※催し物により変更もあります
- 特別展・企画展 7/25(木)～9/23(月) ミニ企画展「沖縄の誇り・三線」 楽器博物館展示室 8/11(土) 関連ミニコンサート「三線ミニコンサート」 14:00/15:30 出演：又吉恭平 三線関連講話 14:40 講話者：仲嶺幹
- 8/1(木)～9/23(月) 企画展「楽器と植物・楽器と動物」 楽器博物館展示室 ●ミニコンサート 基本は14:00/15:30(各30分) 天空ホール 不定期開催 7/25(木) 「バロック・アンサンブル」 14:00 出演：柴田俊幸(トラベルソ)、戸田薫(ヴァイオリン)、戸崎廣乃(チェンバロ)、高橋弘治(チェロ) 8/7(水) 「 Hammondオルガン」 出演：浅野仁 8/10(土) 「インドネシアの伝統芸能「ワヤン・クリ」」 13:15/14:00/14:45/15:30 出演：インドネシア伝統芸能団ハナジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実)
- 8/17(日) 「バラクアイのアルパ」 出演：長島忠之 ほか 10/6(日) 「フルートとチェンバロ」 出演：福永吉宏、中野振一郎
- レクチャーコンサート 10/19(土) 「サラスヴァティー女神の楽器「ヴィナー」」 18:30 天空ホール 出演：的場裕子、竹原幸一
- 11/14(木) 「よみがえった金属弦アイリッシュ・ハーブ～鉄の弦・真鍮の弦・銀の弦～」 19:00 天空ホール 出演：寺本圭佑
- 講座・ワークショップ 8/9(金) 子どもワークショップ 2019 静岡県博物館協会地域セミナー 「インドネシアの影絵人形「ワヤン・クリ」を作って芝居しよう！」 13:00～16:30 楽器博物館展示室 講師：インドネシア伝統芸能団ハナジョス(ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実) 子どもワークショップ 「休さんも吹いた笛・小さな尺八「一節切(ひとよぎり)」をつくって鳴らそう！」 13:30～16:00 研修交流センター 講師：相良保之 9/23(月) ふじのくに子ども芸術大学講座 子どもワークショップ 「インドネシアの伝統楽器ガムランを演奏しよう！」 10:00～16:00 研修交流センター 講師：ローフィット・イブラヒム、佐々木宏実、西岡美緒
- 10/13(日) 親子ワークショップ 「羊毛フェルトで楽器の絵を描こう！」 13:30～16:30 研修交流センター 講師：安岡真理、太田紗世

浜松市楽器博物館だより

令和元年7月25日発行 No.129 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>



浜松市

楽器博物館

No.129
2019.7.25

だより



チャランゴ



楽器には、素材や形状、シンボルとしての彫刻、使われ方など、植物や動物と関係の深いものがありますが、本展ではその中でも特に「素材」や「形」を通して見えてくる「人間と動植物との関わり」について展示します。

楽器を“見る”だけでも種々の方法がありますが、例えば「なぜその素材でできているのか」という問いを通して楽器を見ると、楽器が作られた地域の気候や文化、生活を知ることができます。たとえば、南米アンデス地方には共鳴胴にアルマジロのこうらが使われる「チャランゴ」という撥弦楽器がありますが、「なぜアルマジロといった珍しい素材が使われているのか」という視点で掘り下げると、アルマジロの肉を食用とするその地域の文化が見えてきます。また、本来ならば捨てる部分を楽器に利用して大切に使い続けるという、人々の考え方にも思いを馳せることができます。このように、楽器の素材や製作過程、誕生した経緯を知ることは、その背景にある人々の暮らしに想像を巡らせるきっかけになります。

また、自然のものを利用して楽器を作ると、時に問題も発生します。人間が利便性を求めるために自然環境を変

企画展

楽器と植物・楽器と動物 がはじまります！



鶴殿のヨシ原

えてしまうこともあれば、乱獲や外来種の台頭、地球環境の変化などによって、在来種が危機に瀕することもあります。大阪府高槻市の「鶴殿のヨシ原」では、雅楽の主旋律を担当する管楽器・箏(びょう)の蘆舌(るいぜつ) (リード) に最適と言われるヨシが採取できます。今回、長年ヨシ原の保存・生育に携わっていらっしゃる鶴殿のヨシ原保存会様並びに上牧実行組合様にご協力をいただき、これまでにヨシの生育が懸念された事例や、より良いヨシが育つように毎年行われている“ヨシ原焼き”の活動等についても紹介します。

企画展「楽器と植物・楽器と動物」
会期：令和元年8月1日(木)～9月23日(月・祝)
会場：浜松市楽器博物館 展示室
料金：常設展観覧料のみ
協力：鶴殿のヨシ原保存会、上牧実行組合

企画展期間中、こちらの展示も開催しております。是非、あわせてご覧ください。
ミニ企画展「沖縄の誇り・三線」
会期：令和元年7月25日(木)～9月23日(月・祝)
会場：浜松市楽器博物館 展示室
料金：常設展観覧料のみ
協力：沖縄県三線製作事業協同組合

国際博物館の日記念事業 第193回レクチャーコンサート 「上方風流寄席囃子」

令和初の楽器博物館レクチャーコンサートは、上方落語に使われる寄席囃子をテーマとした大変華やかな幕開けとなりました。

落語では、三味線や太鼓などの鳴り物が嘶に花を添えています。第一部は、冒頭にそれぞれの楽器の紹介があり、音色を実際に聞かせていただきました。また、落語の嘶家が登場する際に演奏される「出囃子」や、歌舞伎に由来し嘶中に演奏される「ハメモノ」も実演を交えながらご紹介いただきました。出囃子は嘶家一人ひとり異なり、300曲ほどあるそうで、奏者はその曲を全て覚えているそうです。リクエストコーナーでは、実際にお客様が嘶家の名前を挙げ、その出囃子を即興で演奏する演者の皆さんに会場はどよめきました。

休憩をはさんで第二部では、寄席囃子をふんだんに使った落語「天下一浮かれの屑より」の公演となりました。笑いの要素が多くあり、嘶を楽しむのは勿論のこと、第一部で楽器について丁寧にご紹介いただいたことで、演奏により耳を傾け、嘶や動作と囃子の結びつきをより深く実感できました。



最後は盛大な寄席囃子によって終演し、大いに盛り上がりを見せたコンサートとなりました。

国際博物館の日記念事業
レクチャーコンサート
「上方風流寄席囃子～落語と鳴り物の幸せな時間～」
日 時：令和元年5月4日（土）14:00～15:50
場 所：アクティシティ浜松 音楽工房ホール
出 演：林家染雀、露の眞、林家染八、月亭遊真、はやしや絹代、はやしや京子
入場者：115人

日本オーストリア友好150周年記念 第195回レクチャーコンサート 「バリトン」

梅雨入り直前の6月5日、当館天空ホールにて開催したレクチャーコンサートでは、日本オーストリア友好150周年記念事業として「エステルハージ・アンサンブル」の皆さんをお招きし、バリトン三重奏を披露していただきました。

かつて、ハイドンが仕えていたエステルハージ家の君主・ニコラウス侯が「バリトン」をこよなく愛していたことから、ハイドンが123もの曲を書き上げたというお話や、バリトンの特徴である共鳴弦のお話、バリトンは湿気や気温に左右されやすい繊細な楽器であることなどを丁寧に分かりやすく解説していただきました。

コンサートの休憩時間では、バリトン奏者のミハエルさんがお客様をステージに呼び、バリトンを間近に見ていただきながら、本体の裏側に隠れている共鳴弦や、弦の張り方、胴の作りなどを詳しく解説していただきました。お客様からの質問にも気軽に答えてくださり、奏者とお客様のコミュニケーションが充実したレクチャーコンサートとなりました。

現在ではなかなか見聞きすることのできないバリトン



の魅力、ハイドン没後210年という記念の今年、ハイドンの曲に乗せて存分に伝えていただきました。

日本オーストリア友好150周年記念レクチャーコンサート
「バリトン～王侯貴族の愛した幻の弦楽器～」
日 時：令和元年6月5日（水）19:00～20:30
場 所：楽器博物館 天空ホール
出 演：エステルハージ・アンサンブル
(ミハエル・ブリュッシング、アンドラーシュ・ボリキ、マリア・ブリュッシング)
入場者：77人

5月大型連休にミュージアムサロンを開催しました

天皇即位に伴う大型連休のうち5月3日から5日にかけて、演奏家の方をお招きし、ミュージアムサロンを開催しました。

初日の5月3日（金）は、中国の伝統楽器である阮（ルワン）をタンソクティエンさんに演奏していただきました。阮は弦をはじいて演奏する弦楽器です。歴史は古く、今から2000年前には存在していたとされています。時代の移り変わりとともに改良が重ねられ、現代では十二平均律に基づいた楽器が作られています。

コンサートでは、夜の月と雲の美しい様を描いた曲「彩雲追月」や中国の伝統曲「花好月圓」を演奏していただいたほか、楽器の音程や、阮やその他の中国伝統楽器を使用したオーケストラの話などもしていただきました。阮の美しく明るい音色に、お客様もうっとり耳を傾けていました。



ミュージアムサロンコンサート「中国の阮（ルワン）」
日 時：令和元年5月3日（金）14:00、15:30（各30分）
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：タンソクティエン 参加者：135人



ミュージアムサロンコンサート「バンジョー&アコーディオン」
日 時：令和元年5月4日（土）14:00、15:30（各30分）
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：Banjo & Accordion 稲川友則（バンジョー）、柴田貴子（アコーディオン） 参加者：201人

最終日の5月5日（日）には、駒崎万集さんをお迎えして、ウズベクのドゥタールという弦楽器を披露していただきました。楽器の名前が「2本の弦」という意味のペルシャ語に由来していることや、ウズベクのドゥタールは弦に絹糸が使われているという解説のほか、ウズベキスタンとタジキスタンの文化や民族についてもお話いただきました。演奏ではドゥタールの響きに合わせた可愛い女の子の気持ちを描いた歌などが歌われ、お客様も朗らかな表情で演奏と歌声に魅了されていました。

それぞれの楽器による多彩な音楽を楽しみ、充実した3日間となりました。



ミュージアムサロンコンサート「ウズベクのドゥタール」
日 時：令和元年5月5日（日）14:00、15:30（各30分）
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：駒崎万集 参加者：180人